

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道230号 小金湯拡幅 <small>こがねゆ</small>		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道札幌市南区豊滝 <small>ほっかいどうさっぽろ みなみ とよたき</small> 至：北海道札幌市南区定山溪温泉東 <small>ほっかいどうさっぽろ みなみ じょうざんけいおんせんひがし</small>			延長	4.3 km	
事業概要	<p>一般国道230号は北海道の中核都市である札幌市を起点とし、せたな町に至る総延長約150kmの主要幹線道路である。</p> <p>札幌市内中心部と道内屈指の観光地である定山溪や洞爺湖を結ぶ当該区間の慢性的な交通混雑の緩和による道路交通の定時性、安全性の向上を目的とした延長約4.3kmの4車線拡幅を行う二次改築事業です。</p>					
H6年度事業化	H1年度都市計画決定		H10年度用地着手		H10年度工事着手	
全体事業費	約99億円		事業進捗率	69%	供用済延長	1.7km
計画交通量	15,000台/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 3.2 (残事業) 7.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 32/112億円 事業費：27/104億円 維持管理費：5.0/8.3億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 224/364億円 走行時間短縮便益：194/311億円 走行経費減少便益：24/43億円 交通事故減少便益：5.8/10億円	基準年 平成20年		
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=7.8（交通量+10%） B/C=6.3（交通量-10%） 事業費変動：B/C=6.5（事業費+10%） B/C=7.7（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=6.8（事業期間+1年） B/C=7.3（事業期間-1年）</p>					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道等の渋滞損失時間（人・時間）及び削減率） 個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） <p style="text-align: right;">他5項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>当該道路の整備促進により、地域における住民生活の利便性の拡大や産業・観光振興など地域の活性化を促進し、道央圏における各都市・空港・港湾の拠点機能の強化が図られるため、6市1町1村の首長で構成される北海道石狩地方開発促進期成会より整備の要望を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年度に板割沢局改が全線供用。 平成15年度に札幌市アイヌ文化交流センターがオープン。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成20年度末までにL=1.7kmが供用しており、現在の事業進捗率は69%となっている。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代中頃の供用を予定している。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>推進工法の採用によりコスト縮減を図っている。</p>					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	<p>以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>					
事業概要図	<p>Map showing the project route from Abashiri (自 北海道札幌市南区定山溪温泉東) to Sapporo (至 札幌市街). The map indicates the current section under evaluation (L=4.3km) and the section already in use (L=1.7km). A legend defines the symbols: solid line for 'In Use', hatched area for 'Under Evaluation', and dashed line for 'Under Construction'.</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。